



# ラーチャブルック ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

## 本当にやりたいことは

校長 谷口 幸一郎

かれこれ40年ぐらい前のことになるでしょうか。今でも鮮烈に覚えているテレビのワンシーンがあります。それは、岡本太郎画伯が一般人の描いた絵を評価するテレビ番組上でのことでした。出品された100号を超える大作を目にしたMCをはじめ周りの人々は、その絵の構図、色づかい、そして何よりも完璧なデッサン力に驚き、賞賛の声をあげました。ところが岡本画伯は、

「うーん、きれいだね。それで……」

と、つぶやいて黙ってしまいました。会場にきている絵の制作者に気がつかったMCがすかさず、「先生、他に何かコメントはありませんか？」と問うと、

「これだけ、正確にきれいに絵を描くのなら、写真を撮ればいい。相手が『なんだ。これは？』と思わなければ意味が無いのだ。」

と答えたのでした。

残念ながら画才のない私は、絵の評価を云々することはできませんが、「なんだ。これは？」という一言に込められた、言葉にならない思いのようなものが熱をおびて伝わってくるのを感じたのです。

つい最近、同じような場面に出会いました。

小学生で野菜ソムリエプロの資格を最年少の10歳で取得した緒方湊君。大人顔負けの知識量と行動力で、「まだ知られていない野菜や美味しい野菜をみんなに伝えてあげることのできる農家」になりたいと、将来の夢を語る彼を見た周りの人は、「なんだ。この子供は？」と一様に驚くのだそうです。

もちろん彼は幼い時から野菜を食べるのが大

好きで、そこからいろいろな野菜を食べてみたいと思うようになったそうですが、その彼を支えてくれたのがご両親でした。ある時、お父さんが彼についてこんなコメントしています。

「私は、子供が好きなことを見つけてあげたい。全力で協力したい。湊の場合、その好きなことが野菜でした。」

お父さんは、湊君が食べたことのない野菜を求めて、時には1週間も連続で一緒に日本全国を旅したそうです。口で言うのは簡単ですが、なかなかできることではありません。一般的な保護者は、自らが見聞きし、経験してきた世界から物事を判断して、その範疇で子供をよりよい方向へ導こうとするものです。一方、湊君のお父さんは、子供の興味のあることについて探究心をくすぐるような質問をとおして、知識だけでなく行動力まで身に付けさせてあげようとしてきたのです。自分の好きなことを見つけた湊君は今、その道をさらに進んで行こうとしています。もしも将来、湊君が別の道を選ぶことになっても、心を躍らせながら疑問や未知の事柄にぶつかっていった経験は、夢の扉をあける鍵として彼の中に残り続けることでしょう。

皆さんは、自分のお子さんがどんなことに興味や関心をもっているのか、ご存じですか。お子さんの様子を観察してみてください。意図的に見ることによって、見えてくる何かがあるはずです。そしてタイミングをみて、そのことについて何気なく尋ねてください。きっとお子さんはびっくりするぐらいの知識もって、得意げに話してくれると思います。保護者にとっては何の

役にも立たないことと思われるかもしれませんが、しかし決してそうではありません。何かに夢中になった記憶は、いつの日にかお子さんの生活に潤いをもたらし、将来の人生を豊かにしてくれるはずです。中には、興味や関心がもてるものがまだないというお子さんもいると思います。そのようなお子さんには、様々なことに触れさせる機会を作ってみてください。家族の方のつづきや、たった一回の声かけがお子さんの人生に大きく影響を与えることもあります。

もう少しすると夏休みです。いつもより期間は短いですが、新しい生活様式になり、子供たちとの関われる時間は増えると思います。そういう時だからこそ、子供の興味や関心があることについてじっくり語り合うことができると思います。この夏休みが子供にとっても保護者にとっても意義あるものになると、期待しています。では、9月に会えることを楽しみにしています。

## バンコク日本人学校点描

「バンコク日本人学校の新しい生活様式」に基づいて、7月1日から分散登校が始まりました。朝の登校に始まり、様々な場面でソーシャルディスタンスを保つことや、手指の消毒の徹底等、これまでとは違った学校生活です。でも友達と笑顔で話す姿、グラウンドや中庭で元気に走り回る姿、真剣に学習に取り組む姿に、学校で仲間と一緒に学ぶことの喜びを感じているようです。これからも、子供たちの命を守り、子供たちの学びを保障するために、保護者の皆様と共にこの大変な時代を歩んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。



👉在宅学習中に、第1グラウンドの芝生化をしました。

1mの間隔を保つ机で、初めての学校生活を送る1年生👉



👉新築の6号棟の吹き抜け階段を歩く中学部



👉レインボーゲートでの朝の登校風景。1m間隔でつけられたドットに整然と並び子供たち。先生たちが一人ずつ健康告知書の確認をし、サーモカメラで検温します。



👉小学部図書館もソーシャルディスタンスを守ります。

※2学期の予定等につきましては、学年の Google Classroom に掲載されている「学校だより」をご覧ください。